学校番号	２１８

令和５年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅲの授業では、主に作品の制作を行います。その時、もちろん自分の作品を完成させることが目標になります。ただ、その活動の中から、生活の他の場面でも活きてくる新しい視点を見つけられればより良いと思っています。

新しい視点を見つけるというのは、例えば、何かを観察して描写する中で普段見えなかったその物の特徴に気付いたり、何かを伝えるために色と形を工夫してデザイン作品を作ることで、身の回りの様々なデザインに隠された意図に気付けるようになったり、といったことです。

そのように、授業から自分の中に新しいものを取り入れるためには、本気で活動に取り組むことが必要です。本気になるために一番手っ取り早いのはその活動を楽しむことです。楽な方ではなく、楽しくて本気になれる方を選ぶのが、結局自分にとって得だと思います。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して美術文化に対する理解を深め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。そして、表現活動を通じて自己の主体性と独自性を確認することで自己を肯定し、様々な対象や経験から豊かな美的体験を得られる感性を育むことで自らを取り巻く他者と世界を肯定して、それらを合わせて人生を肯定的に捉えて生きていくための力とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを追求し、美術文化に関心を向け、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとする。	創造的な感性のもとに、想像力を働かせて主題を形成し、表現の構想を練っている。	創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫しつつ完成度を追求して表している。	美術文化への理解を深め、美術とそれにつながる自然や社会、生活について幅広く考え、それらの美しさや面白さを創造的に受容している。
評価方法	授業中の様子 作品	作品	作品	授業中の様子 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	校内スケッチ	【絵画・彫刻】 校内で自分の描きたい風景を選び、鉛筆でスケッチする。	○	○	○		a:自分が生活している学校の風景に創造的に美しさを見出している。 b:場所の選択・視点の確定・描写範囲のトリミングを意図をもって行い、画面を構成している。 c:鉛筆という画材の特徴を理解して活用し、風景中の物体と空間を総合的に観察・把握して表現している。	作品 活動の様子
	大冠祭ポスターのデザイン	【デザイン】【鑑賞】 文化祭のポスターをデザインする。 ・アクリルガッシュでの構成を中心に、他の画材やモダンテクニックなども取り入れて表現する。 ・完成作品はのうち1点が実際に当年度文化祭の広報ポスターとして採用される。		○	○		b:色・形・文字の構成を十分に練り、文化祭の楽しさや雰囲気が伝わるポスターを考えている。 c:画材・技法の特徴を活かして表現し、一つの画面として完成させている。	作品
2学期	自由制作	【絵画・彫刻】または【デザイン】または【映像メディア表現】【鑑賞】 分野・素材・技法・テーマ・モチーフなど、すべて制限なく自分で決めて作品を制作する。 ・プランシートを作ってから制作を開始する。 ・技法など制作過程についてはできる限り自分で調べて準備する。 ・完成した作品をそれぞれ人に見せるために展示し、ミニ展覧会を行って相互鑑賞して、感想・評価をワークシートにまとめる。	○	○	○	○	a:条件の制約がない中で自分から調べたり準備したりして、積極的に制作活動をしている。 b:作りたい作品を主体的に発想し、実現できるように工夫して構想を練っている。 c:自分の発想を表現するのにふさわしい技法を用いて、作品として高い完成度で仕上げている。 d:各々の作品に向かい合い、他者の作品に対して真摯に良さを味わおうとしている。	作品 活動の様子 プランシート ワークシート

3学期	夢想の大冠	【絵画・彫刻】【鑑賞】 1学期に制作した校内スケッチなどを元に校内の風景を描き、そこに自分の夢想を元にアレンジを加えて絵画として完成させる。 例）建物に植物が生い茂っている、動物が徘徊している、建物の色が全く違う、など。 ・基本はアクリルガッシュでの描画を想定するが、他の画材も使用可。 ・完成作品を相互に鑑賞して感想をワークシートにまとめる。		○	○	○	b：実際の場所を元に自分の発想を融合させて、画面の中にひとつの世界を作り出せている。 c：画材の特徴を活かし、自分のしたい表現に合わせて描画できている。 d：他の生徒の作品に表れたそれぞれの想像力を鑑賞している。	作品 ワークシート

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。